

志水 玲子 さん

■受験歴

2012年1次7科目受験、科目合格(経済学)

2013年1次6科目受験、合格

2次筆記受験、不合格(CCBC)

2014年2次筆記受験、不合格(AAAC)

2015年1次7科目受験、合格

2次筆記・口述受験、合格

※1次対策は独学。2次対策はMMC通学講座を利用(2013年直前対策、2014年通年・直前対策、2015年直前対策)

■中小企業診断士を目指した理由

新卒で就いた人材派遣業の営業職では、支援する仕事のやりがいと、営業やマネジメントなど企業活動の面白さを知りました。その後転職した中小企業では社長との距離が近く、職務範囲を広げていただけたものの、中小企業ならではの悩みや問題に直面し、無力感を感じる場面が多々ありました。今後は専門知識を学んで問題解決能力を高め、縁の下の力持ち的な存在として働きたいと思うようになり、中小企業診断士はまさにぴったりと思いました。ただ、試験対策上で直接生かせる資格や知識は持たず、ほぼゼロからのスタートでした。

■MMCでの学習スタート

1次通過がわかり、8月の直前対策から2次学習をスタートさせました。内心わくわくした気持ちで臨んだものの、いきなりの答練では解き方がわからず毎回空欄の連続。すらすら解答を書く周囲に焦り、出遅れてしまったと思いました。

危機感をおぼえた私は、思いきって先生に個別に質問をさせてもらい、確実に取るべき設問(経営分析や強み弱み、キーワードマトリックスを使った改善策や助言)などの『書き方=型』から指導していただくことができました。(先生方には今でも感謝しています)

1年目はとにかく真似から入り、「それらしい」解答が書けるようになりました。2年目以降、さらに自分らしく定着させるまで試行錯誤しましたが、これが合格まで解法の土台となりました。答練や模試のアドバイスや反省をもとに改良していくことで、「設問を読む→型をメモ→解答要素をまとめる」の手順がスムーズになり、解きやすくなっていきました。

■2次での2度の失敗

1年目…事例Ⅰの最初から題意がつかめず混乱。与件文を集中して読めず時間をロス。事例ⅠⅡⅣで空欄をつくる。手ごたえ全くなし。

2年目…事例Ⅰ～Ⅲまで集中して順調に解けたものの、事例Ⅳでわからない問題に動揺し、経営分析をのぞく設問でポカミスや空欄をつくる。

実力不足はもちろんなのですが、空欄を作らない強い意志や工夫がもう一步足りなかったり、「自分は財務が苦手だから…」といった甘えも影響していたように思います。力をつけてきたはず

の 2 年目の不合格はさすがにショックでしたが、自信はなくても書ききった事例Ⅰ～Ⅲが合格点だったことに安心でき、財務の攻略という課題が明確になりました。

■自分の鉄則

2 次 3 度目の今年度は 1 次再受験となったため、1 月から夏まで 2 次学習から距離を置き、先生のアドバイスで MMC 模試だけは受けていました。それ以降も手を広げずこれまでの学習の延長にとどめて、8 月からは答練と過去問、過去教材だけに集中し、財務だけは通信の特訓も利用しました。答練と模試での失敗をふまえて自分の鉄則を 3 つ決めて 3 度目の本試験に臨みました。

1. 全科目 65 点を狙う(高すぎず低すぎず偏らず)
2. 空欄を絶対に(!!!)つくらない

3 年目ともなれば解き方も点数も安定する一方で、考え込んで時間がなくなり空欄が再発することがありました。それは再答案並みの良い答案を書きたい欲が出てしまっているせいでした。ある時から終了 5 分前に解き終えるよう時間配分を変え、「よくわからず埋めただけの自信のない解答でも心配するほど点数は悪くない」という体験を答練や模試で重ねました。割り切っても大丈夫と実感できたことで、本試験でも安心して鉄則を守ることができました。

3. 相手に寄り添えているか？出来ているつもりになっていないか？

2 年目に比べて題意と解答のズレが所々出るようになってしまい、馴れやおごりが出てくる怖さを初めて感じました。「相手(与件、出題者)に寄り添うことの大切さ」は模試でのアドバイスでハッとさせられ、ことあるごとに自問するようになりました。勝因かどうかはわかりませんが、試験会場では各事例の開始直前にそれだけを強く意識して臨んだことが 2 年目までとの違いです。

■最後に

じつは 3 年目の本試験後は、打ちのめされた状態で帰りました。財務で設問文の解釈がうまくできずに解けそうで解けない問題があり、適当な答えで埋めるしかなかったからです。それ以外の事例は必死で空欄も作らずにいつも通り書き上げただけに、「また財務が足を引っ張るかもしれない」と悔しくてたまりませんでした。「最下位滑り込みでいいから今年こそはどうかお願いします」と拝むような気持ちで合格発表を迎え、驚きとともにやっと家族や先生にも合格報告をすることができました。

MMC の MC サークルや解法の技術はぶれないものですが、より実践的で具体的な手法や考え方などについては、先生方それぞれに解答ノウハウやコツ、視点をお持ちでした。講義や個別アドバイスでは 3 年目になってもなお発見があり、理解が深まり、反省もし、それらを書きとめてできるかぎり吸収できるように取り組んできました。それが合格へと結びついたのでと思っています。1 年目は不安なスタートで恥もたくさんかきましたが、最終的には「よくできてる」とコメントも頂けるくらいに成長できたことを嬉しく思っています。MMC で信頼できる先生方にお会いでき、直接ご指導を受けられたことに心から感謝しています。どうもありがとうございました。